

第 103 回 CSR 研究部会議事概要

記

日 時：2014 年 4 月 8 日（火）18:00～19:30

場 所：電力中央研究所大手町地区第 2 会議室

出席者（順不同、敬称略）：水尾、津村（アデランス）、大倉（住友 3M）、吉田（BERC 上席研究員）、田中（宏）、平塚、清水、北村、昆、笹谷、箕輪、平塚、西藤、荻野、齊藤（善）、中嶋、杉田、宮川、古谷、明石、村松、文、山田、田中（信）、蟻生

主な議事：

1) 清水先生より、CSR 研究部会の 2013 年度（2013 年 4 月～2014 年 3 月）の活動記録、決算書等が適正に処理されていることを確認したとの監査報告があった。この際、会計幹事の平塚氏の尽力に対する謝辞が述べられた。また、本部会の場合、企業、学識者など多様なメンバーによる報告・意見交換、単行本執筆などの積極的な活動がとられていることもあり、今後も一層丁寧な管理、報告が求められるとのコメントがあった。

2) 駿河台大学経済経営学部教授 水尾順一氏より、『グローバル CSR を機軸とした CSR、BOP ビジネスに関する考察～クライストチャーチ・東日本の大震災からの復興支援から、ガーナ、メキシコにおける CSV 活動まで』をテーマに報告があり、関連する質疑応答を行った。

3) 古谷氏より、CSR 関連の有志による「CSR と CSV を考える会」にて検討し、2014 年 3 月に公表された『CSR と CSV に関する原則』（CSV が企業に広がるにつれて ISO26000 や CSR の本質が理解されないことに対する懸念から作成されたもの、添付資料参照）について紹介があった。

4) 山田先生、荻野先生などより、CSR と CSV の関係や概念を CSR 研究部会のテーマとして検討、整理したらよいとの提案があり、まず山田先生が部会メンバーの意見、要望を集約し、そのとりまとめ結果にもとづき対応を検討していくことになった。

5) 次回部会は、5 月 13 日（火）18:00～電力中央研究所大手町地区第 2 会議室にて開催する。

以上